

日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER



No.164
2021/12/12

目 次

理事会報告	1
日本中東学会第 38 回年次大会の研究発表と企画セッションの募集について.....	3
『日本中東学会 (AJAMES)』編集委員会報告.....	6
第 28 回公開講演会「中東の都市探訪：歴史と文学から」報告記..	6
KAMES-AFMA International Conference	8
広報事業報告.....	8
寄贈図書.....	9
会員の異動.....	9
連絡先をご存じないですか.....	10
年会費長期滞納中の会員の皆様へ.....	10
事務局より.....	10
編集後記.....	11

理事会報告

【2021 年度第 2 回理事会報告】

日時：2021 年 9 月 29 日（水）19:00～21:00

オンライン開催

出席者：保坂修司、堀抜功二、秋葉淳、岩崎えり奈、江川ひかり、大川真由子、粕谷

元、菊地達也、後藤絵美、佐藤健太郎、錦田愛子、森本一夫、福田義昭、横田貴之
欠席者：末近浩太（会長に委任）、青山弘之（事務局長に委任）

〔報告事項〕

1. AJAMES 編集について報告と説明があった。
2. 研究成果公開促進費 B の申請準備にかかる報告があった。
3. 第 38 回年次大会準備の進捗状況について報告があった。
4. 公開講演会報告準備の進捗状況について報告があった。
5. 学会口座の名義変更について報告があった。
6. 学会ホームページでの『日本中東学会年報 (AJAMES)』の目次公開に向けた準備の進捗状況について報告があった。

〔審議事項〕

1. AJAMES 編集委員会の 2021 年度活動計画、編集体制、投稿規定改定を承認した。
2. 会員動向について、新規入会申し込みを承認した。

【メール審議（2021 年 7 月 11 日～11 月 30 日）】

1. 2021 年 9 月 9 日 日本中東学会公開講演会について
 - 2021 年度日本中東学会公開講演会に関して、以下の内容、日程、予算内訳を承認した。
2. 2021 年 9 月 30 日 日本中東学会公開講演会について
 - 2021 年度日本中東学会公開講演会に関して、科研費基盤研究 (A) 「イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究」(研究代表者：長澤榮治会員) の後援で開催し、同科研のアカウントを使用してウェビナーを実施することを承認した。
3. 2021 年 10 月 6 日 新規入会申し込みについて
 - 3 名から新規入会希望があり、メールでの稟議の結果、10 月 11 日にこれを承認した。
4. 2021 年 11 月 9 日 新規入会申し込みについて
 - 2 名から新規入会希望があり、メールでの稟議の結果、11 月 11 日にこれを承認した。
5. 2021 年 11 月 16 日 第 38 回年次大会の開催方法に関して
 - 大会 2 日目の研究発表をハイフレックス方式で行うことを、11 月 18 日にメールでの稟議の結果承認した。

6. 2021年11月25日 第38回年次大会の開催方法に関して

- 大会1日目の総会後に講演会を開催することを、11月19日にメールでの稟議の結果承認した。

(青山弘之 ニューズレター・書記担当理事)

日本中東学会第38回年次大会の研究発表と企画セッションの募集について

日本中東学会会員の皆様

2022年度の日本中東学会年次大会は、早稲田大学文学部・文学研究科の中東・イスラーム研究コースが担当いたします。例年通りに、大会初日には総会と公開講演会、2日目には研究発表（企画セッション含む）を行います。新型コロナウイルスの影響に鑑み、2日目の研究発表（企画セッションを含む）は、**会場での直接対面方式とオンライン方式を併用したハイフレックス方式**を予定しています。すなわち、発表者の皆様は会場へお越しいただいても、オンラインで参加いただいても構いません。同じく発表者以外で参加者の皆様についても、会場へ直接お越しいただいても、オンラインでご視聴いただいても構いません。なお、新型コロナの感染状況次第では、全面的にオンラインへ移行することも考えられますので、あらかじめこの点をご容赦ください。では、どうか皆さま宜しくご参集くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、総会の開催につきましては、追ってお知らせいたします。

開催日時：2022年5月14日（土）・15日（日）

5月14日（土）：公開講演会（調整中）

5月15日（日）：研究発表・企画セッション（オンラインと対面を併用したハイフレックス方式）

会場（対面方式での参加をご希望の場合）：早稲田大学戸山キャンパス

【実行委員会】

委員長：大稔哲也

事務局長：五十嵐大介

委員：小松香織、桜井啓子、佐藤尚平、土佐林慶太、杉本悠子、柳谷あゆみ、長谷部圭彦、高木小苗、永島育、沈雨香、Alex Mallett

*研究発表・企画セッションともに、下記のフォームからご応募ください。応募の締め切りは、2022年1月14日（金）とさせていただきます。採否については実行委員会での決定後、後日改めてご連絡いたします。

研究発表の申し込みについて

研究発表・企画セッションともに、下記のフォームからご応募ください。応募の締め切りは、2022年1月14日（金）とさせていただきます。採否については実行委員会での決定後、後日改めてご連絡いたします。

1. 研究発表

※研究発表応募フォーム：<https://forms.gle/TtiohDBxSk5AxJMD6>

研究発表はハイフレックス方式（対面と Zoom を用いたオンラインの併用）で行います。発表を希望される方は、1月14日（金）までに上記の応募フォームからご応募ください。また、その際には下記の情報をご入力ください。

- ①連絡先メール・アドレス
- ②氏名：漢字もしくはカタカナ表記
- ③氏名のローマ字表記
- ④所属：大学院生の場合はその旨を明記してください。所属がない場合は「学会員」としてください。
- ⑤発表タイトル（仮題も可）
- ⑥発表内容の概要：日本語 400 字程度／英語 200 words 程度。日本語か英語のいずれかで結構です。テーマと内容が明快にわかるように記してください。正式の「要旨」は、実行委員会での採否の決定後、改めて発表予定者に執筆をお願い致します。発表の言語は、原則として、日本語か英語のいずれかとします。
- ⑦発表方法：会場での発表か、オンライン発表かをお選びください。なお、今回の研究発表はハイフレックスで実施しますので、会場で発表する場合でもご自身で PC を持参し発表していただく必要があります。対面発表を希望するものの、PC 持参が難しいという場合には、あらかじめ大会事務局までご相談ください。
- ⑧年会費納入済の確認：発表者は日本中東学会年会費(2021 年度分)を納入済みであることが条件となっています。未納の方は応募前にご納入ください。ただし、学生会員または会費特例会員として今年度の年会費支払いを免除されている方は除きます。

2. 企画セッション

※企画セッション応募フォーム：<https://forms.gle/YjNjHAGgtgdgXTQ7z7>

会員による企画セッションも募集します。同じくハイフレックス方式（対面と Zoom を用いたオンラインの併用）で行います。特定のテーマに関する企画セッションの開催をご希望の方は、以下の要領でご応募ください。

一つの企画セッションの持ち時間は、発表・コメント・質疑応答を含め 1 時間 30 分とし、発表者は 3 名程度とします。コメンテーター（討論者）などをつけるかどうかは自由ですが、必ず 1 名の司会者が必要です。企画責任者・発表者・司会者はすべて日本中東学会会員であることとします。また、企画責任者は、発表者・司会者・コメンテーターのいずれかを必ず兼ねることとします。企画責任者が、発表者と司会者、

あるいは司会者とコメンテーターを兼ねることもできます。なお、コメンテーターは非会員でも構いません。発表者やコメンテーターの一部がオンラインで参加することも可能としますが、司会者と企画責任者は会場に来て、セッションの取りしきりを行ってください。もしも、司会者と企画責任者が別で、企画責任者の来場が難しい場合には、遠慮なく事務局へご相談ください。

企画責任者は、1月14日（金）までに上記の応募フォームからご応募ください。その際には以下の情報をご入力ください。

- ①連絡先メール・アドレス
- ②企画責任者氏名：漢字もしくはカタカナ表記
- ③企画責任者氏名のローマ字表記
- ④企画責任者の所属
- ⑤使用言語：原則として、日本語か英語のいずれか。それ以外の言語をご希望の場合は、実行委員会事務局までご相談ください。
- ⑥企画セッションのタイトル（仮題も可）
- ⑦企画セッションの主旨：日本語 400 字程度／英語 200 words 程度。日本語か英語いずれかで結構です。
- ⑧参加者一覧：各参加者氏名の漢字もしくはカタカナ表記とローマ字表記の双方、所属、セッションでの役割をお知らせください。司会とコメンテーターは応募時点では未確定でも構いません。オンラインで参加する参加者がいる場合は、その旨もご記入ください。
- ⑨発表方法の確認：企画セッションはハイフレックスで実施しますが、司会者と企画責任者は双方とも会場へ来ていただきます(難しい場合には事務局へご相談ください)。また、会場で発表する場合でも、ご自身でPCを持参し、発表していただく必要があります。
- ⑩各発表者の発表要旨：⑦の企画セッションの主旨と同様の分量・要領です。
- ⑪年会費納入済の確認：企画責任者は日本中東学会年会費(2021 年度分)を納入済みであることが条件となっています。未納の方は応募前に納入してください。ただし、学生会員または会費特例会員として今年度に年会費支払いを免除されている方は除きます。

3. 託児サービスについて

第38回大会では、大会開催期間中の託児サービスの利用に対して、費用の補助を検討しております。詳細につきましては、追ってお知らせいたします。

以上、何卒よろしくお願い申し上げます。

連絡先：

日本中東学会第38回年次大会実行委員会事務局
〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1

早稲田大学文学学術院 中東・イスラーム研究コース室

E-mail : james2022waseda[at]list.waseda.jp ([at]は@に読みかえて下さい)

(第 38 回年次大会実行委員会)

『日本中東学会 (AJAMES)』編集委員会報告

『日本中東学会年報 (AJAMES)』の刊行・投稿について

- ただいま、37-2 号の編集を行っております。仏文特集 (論文 4 本)、論文 3 本を掲載予定です。来年 2 月には刊行の予定です。
- 38-1 号の投稿締め切りは 12 月 1 日でした。多くの投稿をいただき、ありがとうございました。現在、原稿の審査を行っています。
- 38-2 号の投稿締め切りは来年 6 月 1 日です。欧文の特集を含め、皆様の御投稿をお待ち申し上げております。

本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりです。

〒108-8345 東京都港区三田 2 丁目 15 番 45 号

慶應義塾大学 研究室棟 604B 錦田愛子研究室気付

『日本中東学会年報』編集委員会

E-mail: ajames-editor@james1985.org

(錦田愛子 AJAMES 編集委員長)

第 28 回公開講演会「中東の都市探訪：歴史と文学から」報告記

2021 年 11 月 13 日 (土) に日本中東学会第 28 回公開講演会「中東の都市探訪：歴史と文学から」がオンラインで開催された。COVID-19 の世界的な流行により観光のために中東地域へ渡航することが難しくなっていることに鑑み、本講演会では 5 人の講演者が各自専門とする地域の「都市」を切り口にそれぞれの地域の魅力を伝えることが企図された。以下、当日行われた講演の内容について簡単に振り返る。

熊倉和歌子氏の「寄進がつなぐ都市とひと：中世カイロの歴史建造物を歩く」では、マムルーク朝第 8 代王のカラーウンによる寄進施設を題材に、カラーウン VR プロジェクトによる映像資料を利用しながら、建造物の様々な見どころについて当時の歴史的背景や現在との結びつきとともに解説された。ワクフなどの基礎知識に関する平易な解説が行われたあと、廟のミフラブをはじめとする建造物の荘厳な装飾や、礼拝堂の柱の柱頭から見えてくる古代エジプトの建材の再利用、高い水準の医療サービスを提供し紆余曲折を経て眼科として現在まで続く医療施設といった内容が、VR による立体的な映像や絵による当時の状況の再現を通じて提示された。全体を通してカラーウンの寄進施設の歴史的な意義を紙面上の知識としてだけでなく視覚的にも理解することができ、臨場感のあふれる講演であった。

柳谷あゆみ氏の「『バグダードのフランケンシュタイン』のバグダード」では、アフ

マド・サアダーウィーの小説『バグダードのフランケンシュタイン』を題材に、小説における描写を通してバグダードやそこで暮らす人々の様子が紹介された。本小説はSF小説であると同時に、舞台となったイラク戦争直後（2005年）の政情不安なバグダードにおける人々の日常が詳細に描かれていることが説明され、主人公である「名無しさん」や主人公を取り巻く人々の様子が多様な人々が集積しては去っていく「つぎはぎの」バグダードを反映していること、また「名無しさん」のあり方にバグダードの人々の平和な日常生活へのあこがれと現実への絶望が示唆されていることが提示された。小説の内容を中心としつつもそのストーリーにはほとんど触れられなかったことで、バグダードという現実の都市のみならず本小説への興味も喚起する内容であった。

澤井一彰氏の「西から東から：食文化に見るイスタンブルの多文化共生」では、冒頭にトルコ各地での食事と飲酒の風景についての映像を通じてその多様性が示されたうえで、イスタンブルにおける食文化がメイハーネ（居酒屋）の観点から紹介された。オスマン帝国下では都市人口の半数以上を非ムスリムが占めていたこと、またトルコ共和国下で世俗主義の方針が採用され国家が酒類の流通や販売を管理する専売法が施行されたことから、現代のトルコではムスリムが多数の国でありながら飲酒文化が残っており、メイハーネで酒を飲みながら人と交流することができる。このメイハーネで酒と共に出される前菜は、様々な地域に起源をもつ多種多様な料理であることが、具体的な料理とその写真を通じて説明された。軽快な語り口と共に繰り広げられた料理（の説明と写真）の数々は、聴者の食欲と飲酒欲を十二分に誘うものであった。

（東京大学大学院博士課程 上野祥）

休憩をはさみ、後半の公演はテヘランとエルサレムに関するものだった。

藤本優子氏の「望郷：小説にみる変わりゆくテヘラン」では、テヘランという大都市を小説によって、また「望郷」と「移住」をキーワードに、テヘランの成り立ちや人々との関わりが描かれた。テヘランの標高差がある地理を踏まえ、水資源が豊富な北部と少ない南部の経済的格差、市域・城壁が何度かの人口流入などを経て拡大してきた歴史が説明された。パフラヴィー朝では都市を貫く大規模道路の建設などもあり、イスラーム革命後も人口の流入が続き、現在では多様な人々が移住して形成された都市であることが示された。他方テヘランはそのメガシティとしての性質のため、小説では欲望渦巻く大都市という側面、またそのカフェに通った知識人たちや芸術家たちを描く題材にもなるなど、多様な顔があることも指摘された。そしてゾヤ・ピールザードの『ハーモニカ』とゴリー・タラッキーの『父』の2小説を主に取り上げ、登場人物たちの居住地域や国外への移住、また都市内部を貫くヴァリーアスル道路を登場人物たちが通過し、テヘランの様々な地域が描かれることで見えてくる都市内部の経済格差などが説明された。こうした雑多な人々が、居住地域が反映する分断・経済格差の中で織りなす「共存」と、「移住」の結果としての「望郷」を明らかにし、テヘランでの生活や雰囲気生き生きと示されたことで、当地を旅行したいと思う意欲が刺激された。

白杵陽氏の「聖地エルサレムの春祭り：預言者モーセ廟を巡って」では、パレスチ

ナ西岸地区にあるナビー・ムーサー廟で行われる春祭りを題材に、パレスチナ人、特にエルサレムの人々の生活・習俗と、それが時の政治情勢によって大きく影響を受けてきた様子が説明された。ナビー・ムーサー廟はその名の通り、預言者モーセの墓地とムスリムに信じられており、長く周辺のパレスチナ人から崇拝、春の祝祭の場であった。しかし1920年4月、この春祭りでのユダヤ人との衝突から、大規模な反英・反シオニスト反乱を引き起こし、長くこの祭りは禁じられてきた。祭りはエルサレムの名望家（アーヤーン）フサイニー家が主催していた事実からも、パレスチナ人には重要な祭りであったことが示唆された。興味深いことに、1906年にエルサレムを訪れた徳富蘆花がこの春祭りをエルサレム旧市街のヤッフォ門付近の宿から眺めたことは、日本とエルサレムの関係の一側面であろう。1993年のオスロ合意以降、春祭りは復活し、今日まで実施されている。ユダヤ教の過ぎ越しの祭り（ペサハ）、キリスト教の復活祭と同時期に行うことから、土着の祝祭でさえ政治的意味を不可避的に含む、パレスチナの複雑な情勢が反映されている。本報告文執筆者も、パレスチナ人の友人にこの春祭りについて尋ねた時、子供の頃（2000年代初頭）に行ったことはあるものの、近頃は訪れたことはなく、その理由はイスラエルの占領政策によって訪問が難しくなったためと答えていた。本報告によって、一つの春祭りの政治的情勢による困難な状況を感じたのと同時に、エルサレムの人々にとって地元の祝祭があるナビー・ムーサー廟へ訪問してみたいという欲求が大いに沸きあがった。

（東京大学大学院博士課程 澤口右樹）

KAMES-AFMA International Conference

韓国中東学会とアジア中東学会共催による国際大会 KAMES-AFMA International Conference がオンラインで2021年10月15日・16日の2日間にわたって行われた。本学会からも5名が参加し研究発表を行った。初日15日のオープニングでは、保坂会長がスピーチを行った。

（岩崎えり奈 国際交流担当理事）

広報事業報告

- 学会ホームページの『日本中東学会年報 (AJAMES)』のページに、2020年以降刊行の36-1、36-2、37-1号の目次を掲載しました。今後も継続して最新号の目次を掲載する予定です (http://www.james1985.org/modules/publications/index.php?content_id=6)。
- 日本中東学会はツイッター (https://twitter.com/james_sns) でも情報発信を行っております。会員の方も、原稿を送っていただければ学会アカウントから発信いたします。ツイッターで配信を希望する場合は、140字以内の原稿を、メーリングリストの場合と同じく ml_haishin@james1985.org に送ってください。その際には冒頭に【TW 配信】とご記入ください。担当理事（広報委員会）が確認後、配信いたします。なお、画像も1点まで添付することが可能です。

（秋葉淳 広報担当理事）

寄贈図書

【単行本】

- 青山弘之（著）『膠着するシリア：トランプ政権は何をもたらしたか』東京外国語大学出版会、2021年
- 荒井悠太（著）『或る中世写本の旅路：イブン・ハルドゥーン「イバルの書」の伝播』ブックレット《アジアを学ぼう》別巻23、風響社、2021年
- ガーズィー・ビン・ムハンマド王子（著）、小杉泰・池端蒔子（訳）『現代人のためのイスラーム入門：クルアーンからその真髄を解き明かす一二章』中央公論新社、2021年
- 黒田賢治（著）『戦争の記憶と国家：帰還兵が見た殉教と忘却の現代イラン』世界思想社、2021年
- ジャン・セルヴィエ（著）、私市正年・白谷望・野口舞子（訳）『ベルベル人：歴史・思想・文明』白水社、2021年
- 宮下遼（著）『物語 イスタンブールの歴史：「世界帝都」の1600年』中公新書2663、中央公論新社、2021年
- 依田純和（著）『大阪大学外国語学部 世界の言語シリーズ17 アラビア語』大阪大学出版会、2021年
- 依田純和（著）『大阪大学外国語学部 世界の言語シリーズ17 アラビア語 別冊〔文字編・文法表・語彙表〕』大阪大学出版会、2021年
- Yunus Emre（著）、Ersin Balcı（訳）*Journey to the Beloved*. Maryland: Kopernik Publishing House, 2018.

【逐次刊行物・ジャーナル・その他】

『季刊アラブ』176号、日本アラブ協会、2021年7月

会員の異動

【新規会員】

【新入会員】

Ziad Alahmad	東京外国語大学
岩下 恭士	毎日新聞社/早稲田大学人間科学学術院招聘研究員
五十嵐 和代	
藻谷 悠介	大阪大学大学院
濱中 麻梨菜	東京大学大学院
和崎 聖日	人間力創成総合教育センター事務室
高橋 信哉	東京外国語大学

劉 雅静

慶應義塾大学

【所属先変更】

竹田 多麻子

澤井 充生

大淵 久志

鈴木 麻菜美

千坂 知世

連絡先をご存じないですか

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため、学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただければ幸いです。

アレズ ファクレジャハニ

苗村 卓哉

斎藤 正道

横田 吉昭

餅井 雅大

西館 康平

後藤 信介

リーム・アハマド ファトヒー モハンマド

林田 花枝

年会費長期滞納中の会員の皆様へ

日本中東学会細則 I-3 に定めるところにしがい、長期滞納者（昨年度分から遡り3年間以上年会費を滞納中の会員。今年度の場合 2018～2020 年度分、あるいはそれ以上の年会費を滞納中の会員）は、理事会による承認を経た後に退会（会員資格を喪失）となります。長期滞納者に該当する会員の皆様には、会員窓口（国際文献社）より個別にメール・文書等によりその旨お知らせしておりますので、すみやかな年会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

事務局より

11月某日、築地のレンタル倉庫で保管されている『日本中東学会年報（AJAMES）』のバックナンバーと日本中東学会事務局の過去資料の整理を行いました。整理作業は事務局員2名と学生アルバイトさん2名で行い、2000冊を超える在庫の山を丸一日がかりで整理しました。AJAMESは1986年に第1号が発行されていますが、整理の過程で日本の中東研究史の一端を垣間見ることができたと思います。

現在事務局はリモートワーク体制をとっているため、郵便物の確認にはお時間を頂いております。また各種お問い合わせについては、学会ウェブサイト「事務局案内」(http://www.james1985.org/modules/about/index.php?content_id=8)をご覧ください。ご不便をおかけいたしますが、よろしくごお願い申し上げます。

（堀抜功二 事務局長）

編集後記

ニューズレター・書記担当理事を拝命し2号目となるNLの編集も無事終わることができました。コロナ禍において依然として余談を許さない状況が続いていますが、みなさま良いお年をお迎えください。

(青山弘之 ニューズレター・書記担当理事)

日本中東学会ニューズレター 第164号
発行日 2021年12月12日
発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局
〒104-0054
東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カ
チドキ10階
(一財)日本エネルギー経済研究所 中東研
究センター内
E-mail: james@james1985.org
<http://www.james1985.org/>
郵便振替口座：00140-0-161096(日本中東学会)
ゆうちょ銀行口座：〇一九店(当)0161096
(ニホンチュウトウガクカイ)